

平成18年第4回羽村市議会（定例会） 一般質問通告項目一覧表

発言順	議席番号	議員氏名	質問項目
1人目	16番	秋山 猛	<p>1 三位一体改革の影響と第四次長期総合計画の重点施策について</p> <p>(1) 三位一体改革により、羽村市の平成19年度の市税収入、地方譲与税、国庫支出金はどのように変化し、具体的影響はどうか。また、東京都の財政改革プランの影響はどうか。</p> <p>(2) 羽村市は不交付のため直接的影響はないものと思うが、「新型交付税」の内容と基準財政収入額および需要額、財源過不足の変化をどのように見込んでいるか。</p> <p>(3) (1)・(2)等の税財政制度の変化により、今後の財源推計は難しい側面を多々抱えるものと思うが、次年度以降の中長期にわたる羽村市の財政見通しについて伺う。また、新たな独自財源確保に具体的計画があればお聞きしたい。</p> <p>(4) 第四次長期総合計画の「後期基本計画」において、重点的に取り組んでいくところはどこか。また、前期計画と比較して大きく変化したところはどこか。</p> <p>(5) 19年度予算編成方針に「平成19年度は後期計画の5年間を見据えた予算とする」とあるが、編成の主要ポイントは何か。また、5カ年のスタート年度として、特に特徴付けたところは何か。</p> <p>2 青少年の健全育成について</p> <p>(1) 最近、少年犯罪やいじめ、自殺などが続発し、各方面に大きな衝撃を与えている。その背景と特徴についてどのように捉えているか。幸い当市では、悲惨な事件は起きていないが、こうした事件が起きないために、児童・生徒への指導はどのようにしているのか伺う。</p> <p>(2) 小・中学校における「いじめ」の実態について伺う。</p> <p>(3) 子どもは色々な体験を積み重ねることにより、様々な知識やノウハウ、他人とかかわる喜びや厳しさを会得していくものである。「心の教育」や「生きる力の醸成」の面からも体験学習の機会を増やしていくことが必要と考えるが、教育委員会の考えは如何か。</p> <p>(4) 羽村市青少年対策地区委員会では、球技大会や稲作体験事業、青少年の社会参加実践活動など実施しているが、参加状況と成果について伺う。</p> <p>(5) 先般実施された青少年健全育成の集いでは、式典、青少年フェスティバル、ポスターコンクールの表彰などが盛会に実施された。さらに、青少年の育成事業として、青少年の主張やパネルディスカッションなど行う考えはあるか。</p>
2人目	6番	中根 康雄	<p>1 羽村市都市整備部の充実と強化を求む</p> <p>(1) 都市整備部職員の増員と、権利者や市民が納得する説明のできる、専門的知識を有する担当者の育成と配置をする考えはないか。</p> <p>2 西口区画整理事業換地基準について</p> <p>(1) 換地設計に際し、後で不満の出ないように予めその</p>

地の利用方法について、権利者の意向を調査すべきだが、しない合理的理由は何か。

- (2) 地区内全ての宅地について、本来施行者が各地積を確定すべきと考えるが、権利者の負担とさせるのはなぜか。
- (3) まちなみ第 15 号にある換地対応例外措置を、申し出により地区内全てに適用できるよう明記できないか。
- (4) 権利者の要望事項が換地設計に組み込まれる場合、その旨の説明はいつどのように行われるのか。
- (5) 同業種の集約を図ることは、商業の活性化と住民の便益性につながるが、実施しないのか。
- (6) 減歩と清算金の仕組みについて、理解できない権利者が多い。納得してもらえる説明をいつどのようにするか。

3 いじめ問題対応について

- (1) いじめの定義をどう解釈しているか。
- (2) 市内小中学校におけるいじめの実態をどの程度把握し、その数と内容は如何に。また事例に対し、具体的にどのように対応しているか。
- (3) いじめがはびこる温床は何だと認識しているか。
- (4) いじめを逸早く発見し、根絶するために、教育委員会・学校・教師・親は何をどうすべきと考えるか。
- (5) 教育委員は現場の実態を知っていて当然と考えるが、抜き打ちで何校に年何回位訪問し、諸問題の調査と実態の把握をしているか。
- (6) 教育力向上のためにどのような教育改革が必要だと考えるか。

1 本格的な、「食育の推進」への取り組みについて

- (1) 食育推進計画の策定について。
 - ①第四次長期総合計画後期基本計画（案）の中で「食育」関連の取り組みが計画されているが、羽村市食育推進計画策定の考えは。
 - ②平成 19 年度、食育の推進関係で、予算化される事業はあるのか。
- (2) 学校での「ふれあい給食」の推進について。
- (3) 羽村市教育委員会としての食育の推進について。
 - ①栄養教諭の配置について、東京都はいくつかの課題を挙げ検討するとしているが、その後の状況と、市としての対応はどうか。
 - ②平成 19 年度、教育委員会としての「食育」への取り組みへの考えを伺う。

2 地域の経験豊かな活力を地域力として発揮できる環境の整備について

- (1) 子育て支援ボランティアの登録制度について。
 - ①地域の子育て経験者や人生経験豊かな高齢者などで、羽村の将来を真剣に考え、子育てに関心と熱意のある人を、子育て支援ボランティア（子育て応援サポーター）として登録する制度の創設を考えているのか。
 - ②子育て支援者やグループなどのネットワーク化で地域の子育て力の結集と支援体制の充実を図るとの考えはあるのか。

4人目

8番

船木良教

- 1 心身の健康を育むスポーツ施設・会場の諸課題について
 - (1) NPO法人羽村市体育協会（以下、体協）から、各種スポーツ団体からの施設整備に関する要望書が市長に提出されているものと思うが、施設整備について予算措置はいかがか伺う。
 - (2) 体協の運営について、自己財源の確保も当然努力すべきと考えるが、補助額の増加について考慮すべきと考えるがいかがか伺う。
 - (3) 富士見公園のジョギングコースに大型デジタル時計を設置することについていかがか伺う。
 - (4) 桜堤ジュニア駅伝のコースで、多摩川の土手、上流部分から宮の下公園グラウンドに入る道路の整備について伺う。
 - (5) 桜堤、一本杉付近に富士見公園同様、大型デジタル時計を設置することについていかがか伺う。
 - (6) サッカーや野球、ソフトなどの施設使用の予約はどのように対応しているか伺う。
 - (7) スポーツセンター内にフットサルのゴールポストを設置することについていかがか伺う。
 - (8) 公園の隅にペタンクの道具箱を設置することについていかがか伺う。
 - (9) 小中学校の夜間照明の整備についていかがか伺う。
- 2 清潔・安全・快適なまちづくりのためにゴミ・タバコの吸殻の、ポイ捨て禁止条例について
 - (1) 現在の回収困難な空き缶、タバコの吸殻など、小さい廃棄物の散乱防止とモラルの向上についての取組状況はいかがか伺う。
 - (2) 犬や猫の糞を放置している飼い主がいるが、適正処理についてどのような措置を講じているか伺う。
 - (3) 都道にポイ捨てされているゴミは、タイヤなどの大きなものもあった。東京都の管理部局に対して強く要請していただきたいがいかがか伺う。
 - (4) 羽村市・市民・販売業者と協力し、空き缶、弁当の食べ終わった容器、タバコの吸殻等、ゴミの散乱防止に関する、ポイ捨て禁止条例の制定を望むものであるがいかがか伺う。
 - (5) 人の移動が自動車やバイク、自転車など大量、広範囲であることから、ポイ捨て禁止条例は、近隣の自治体と連携する事で大きな効果が望めるものとする。近隣市町とともに広域的な条例の制定を望むがいかがか伺う。

5人目

20番

中原雅之

- 1 高齢者のくらしを守る施策を
 - (1) 老年者控除の廃止、公的年金等控除の縮小、個人住民税の年金課税強化、個人住民税の低所得高齢者の非課税限度額廃止、定率減税の縮小による市税収入増はどれくらい見込まれるか。
 - (2) 国保税、介護保険料の高齢者の負担増はどれくらい見込まれるか。
 - (3) 今後、高齢者の負担増や消費税増税など行わないよう、市長としても国・都に求めるべきではないか。
 - (4) 増税などによる増収分で高齢者のくらしを守る施策を

			<p>すべきではないか。</p> <p>2 学校教育について</p> <p>(1) 学校アンケートを行ったとのことだが、保護者からどのような要望が出されているか（主なものをあげていただきたい）。また具体的な要望にどう応えていく考えか。</p> <p>(2) 学校でのさまざまな問題にきめ細かに対応するために、スクールカウンセラーの常時配置、学習サポーターの増員が必要と考えるがどうか。</p> <p>(3) 「市町村立学校職員給与負担法」の一部改正により、市町村が給与を負担して独自に教職員を任用することが可能になった。</p> <p>① 現在羽村市の小中学校で 40 人以上のクラスはいくつあるか。</p> <p>② 都に少人数学級編成の同意を求めて羽村市として少人数学級を実施すべきでは。</p> <p>(4) 各学校の具体的な要望が学校からも、教職員組合からも出されていると思うが、どう対応していく考えか。</p>
6 人目	7 番	佐藤 征一	<p>1 住宅用火災警報器設置の推進と設置費助成について</p> <p>(1) 死傷者を伴う住宅火災が相次いで発生している。このような現状を市民に理解いただくための施策について。</p> <p>① 平成 18 年 6 月 1 日に施行された住宅用火災警報器に係る条例改正の概要について、どのような方法で市民にお知らせを行い、またその回数について。</p> <p>② 消防署と連携し、消防団及び自主防災組織等を活用し地域に根ざした啓発活動により、住宅用火災警報器を、一日でも早く普及させるために、更なる広報活動と相談窓口の充実が必要と思うが、市の考えについて。</p> <p>(2) 安心、安全の街づくりの構築においても、住宅用火災警報器の普及が大事な要素と考えるについて。</p> <p>① 一日も早く、一台でも多く住宅用火災警報器の設置を推進するために、設置費助成制度を設ける考えについて。</p>
7 人目	12 番	菱田 檜樹	<p>1 羽村市国民保護計画素案について</p> <p>(1) この保護計画は、一度には態勢は整わない。努力優先順位はどう考えるのか。</p> <p>(2) 訓練にあたっては、まず平素の積み重ねのある市の防災訓練と有機的に連携させ、同時に徐々に市民への周知を図るのが自然と思うがどうか。</p> <p>(3) 想定する事態は、被害が複雑で大きなものと考えざるを得ない。多くの方はパニック状態になる。安否情報の収集、整理及び提供についてどう考えているのか。</p> <p>2 市内の藤棚は何故花を咲かせないのだろう</p> <p>(1) 立派な羽村の藤を夢みたいがネックはどこにあるのか。</p>
8 人目	9 番	露木 諒一	<p>1 コミュニティバス「はむらん」の運行について</p> <p>(1) 「コミュニティバスはむらん運営推進懇談会」ではどのような意見、要望が出ているか、また、その検討結果は。</p> <p>(2) コミュニティバス「はむらん」の利用状況は。</p>

9 人目	19 番	高 橋 美 枝 子	<p>(3) 公立福生病院への往復運行については利用者も多く、午後の外来診療が行われてきている。往復運行すべきと考えるがどうか。</p> <p>(4) 羽村東コースは利用者も多い、増便すべきではないか、また、双葉町3丁目まで延長すべきと考えるがどうか。</p> <p>(5) 生涯学習センター「ゆとろぎ」等でのイベントの利用時にデマンド（要求）対応の運行をすべきと考えるがどうか。</p> <p>(6) 「シルバーパス」の利用や観光目的の乗客のために「1日乗車券」の発行等の検討はしているか。</p> <p>2 医療費助成を中学3年まで拡大へ</p> <p>(1) 東京都が新たに示した「義務教育就学児医療費助成」は小・中学生を対象に、3割の自己負担のうち1割を、都と市区町村が半分ずつ補助するものである。羽村市の対応は。</p> <p>(2) 羽村市は「チャイルドファースト」（こども優先）社会の実現に向けて、中学3年まで医療費の完全無料化をすの考えはないか。</p>
10 人目	11 番	門 間 淑 子	<p>1 羽村市動物公園にトイレの増設を</p> <p>(1) 子ども用トイレも含め十分なトイレの配置を。</p> <p>(2) 障害者用トイレの配置を。</p> <p>2 障害者（児）の福祉の増進を図るために</p> <p>(1) 障害を持っている人が、人間らしく生きるために受ける施策は「益」ではない。応益負担の撤回を求めるべきではないか。</p> <p>(2) 応益負担の導入による利用者負担の総額は、厚生労働省の最近の試算で約 860 億円だという。公費負担のしくみも変更になり、区市町村は二分の一負担から四分の一負担になっている。羽村市ではどれだけ負担が減ったか。</p> <p>(3) 自立支援医療費は、月額負担上限額を設定するなど、負担軽減を。</p> <p>(4) 福祉作業所等の利用料の軽減を。</p> <p>(5) 補装具の利用料については 07 年度以降も無料にするように。</p> <p>(6) 障害者施設の運営に対する助成を。</p> <p>(7) 羽村市は、障害者とその家族への要求アンケート調査を行うなど、実態をつかみ、悩みや問題を把握して、施策に生かすことが急務と考えるが、いかがか。</p> <p>(8) 障害者が就労できるよう企業に働きかけるなど、就労支援を促進させるべきではないか。</p> <p>3 横田基地へのミサイル配備計画は撤回を</p> <p>(1) 横田基地へのミサイル配備計画は撤回を。</p> <p>(2) C130 輸送機の劣化ウラン使用について、真相を調査し、情報公開を。</p> <p>(3) 米軍横田基地の早期返還を。</p> <p>1 文化芸術関連施設について</p> <p>(1) 「文化芸術関連施設の建設計画案を策定する」とあり、施設建設は決定事項と受け取れるが、いつ決定したのか。</p> <p>(2) 施設の規模・予算はどのようなものか、建設予定地は</p>

11 人目

2 番

石 居 尚 郎

どこか。

2 教育課題について

- (1) 小・中一貫教育構想と一貫校設置の検討は、どのように進められるのか。
- (2) 事務報告書にははじめの報告はないが、特別支援教育が開始されることもあり各小・中学校にスクールカウンセラーを常駐させてはどうか。

3 自然環境の保全について

- (1) 緑被率が 28%となっているが、町丁目別の緑被率で最も高い地区はどこか、それは何%か。最も低い地区はどこか、それは何%か。
- (2) 横田基地分の緑被率は何%か。
- (3) 緑地管理制度はどのように進めていくのか。

4 公共施設駐車場の有料化について

- (1) 有料化の基準はどのようにして決められるか。
- (2) 対象となる駐車場はどこか、いつから有料化されるのか。

1 江戸街道公園を交通公園としての役割強化を

- (1) 現在でも交通公園としての役割はあるのか。また、設置されている信号機などを使用しなくなったのはどのような理由からか。
- (2) 現在当公園を使用している利用者の状況をなるべく損なうことなく、交通公園としての役割を再生する考えはあるか。

2 子供の安心・安全対策の加速化を

- (1) 通学路の安全対策について
 - ①大型マンションの完成などによる通学路の見直しは行われているか。
 - ②通学路におけるわだちや凸凹、車や自転車、歩行者の交通量の変化など、どのくらいの周期で、どのような調査・点検を実施し、整備にあたっているか。
- (2) 「放課後こどもプラン」実施に向けた市の対応について
 - ①教育委員会と子ども家庭部との協議はなされているか。
 - ②将来的には学童クラブを小学校内に実施すべきと考えるが、検討はされているか。
 - ③羽村市として「放課後こどもプラン」をどのように具体的政策としていくのか。
- (3) 不審者情報や道路工事情報などの配信について
 - ①羽村市緊急告知情報は今年度に入り何回配信し、その内容はどのようなものか。
 - ②羽村市緊急告知情報の意図するところは何か、また警視庁安全総務課・福生警察署が配信している情報との違いは何か。
 - ③メール配信は、すでに現実的活用をすべき時にきていると考える。早急に教育委員会と総務部で協議し実行すべきではないか。
- (4) いじめや不登校の問題に対する市の対応について
 - ①緊急的対応としての施策は。
 - ②長期的対応としての施策は。
 - ③子どもや教職員、保護者をサポートする専門家集団

			として、教育相談員を中心とする第3者機関、「教育センター」の設置を提言するが、市の考えを聞く。
12 人目	4 番	瀧 島 愛 夫	<p>1 学校給食費の未納について</p> <p>(1) その後、未納問題解決に向けての、関連部署の対応について詳細に教えて頂きたい。</p> <p>(2) 未納問題に対する具体的なタイム・スケジュールを教えてください。</p>
13 人目	13 番	市 川 英 子	<p>1 羽村駅西口区画整理事業について</p> <p>(1) 長期総合計画答申の中で区画整理事業地内の配水管網の整備と公共下水道の整備に 2 億 6 千万円の予算が事業費として計上されているが、この事業費は 355 億円とは別か。</p> <p>(2) 散在墓地の移転・集約として 6 千万円が事業費として計上されているが 355 億円とは別か。</p> <p>(3) (1) と (2) の質問で別予算ということであれば、上・下水道関係の総予算はいくらか。また、墓地の移転に対する総予算はいくらか。</p> <p>(4) 11 月 21 日から換地設計基準の説明会がブロック別に、21・22・26 日の 3 日間実施された。①・②・③のブロック別参加人数と地権者は何人か。</p> <p>(5) 経済委員会が視察した福島県郡山市の区画整理事業で、住民合意が取れずにいたが 10 年たった今年、合意に至り事業が開始された。ここで学ぶ点は、事業計画を原点に戻し、住民自らが計画案を作り、市はこれを受けて「事業計画変更の決定」をしたことである。郡山市の担当は「事業計画の変更はすぐできますよ」と質問に答えてくれました。羽村市も学ぶべきと考えるが市長の考えを伺う。</p> <p>2 誰もが利用しやすく、親しまれる地域会館の運営を</p> <p>(1) 地域集会施設と学習等供用施設の利用料の引き下げを。</p> <p>(2) 免除団体の拡大を。</p> <p>(3) 減免制度の明確化を。</p> <p>(4) 会館へ管理人を配置し利用者の利便をはかるべき。</p> <p>(5) 地域施設は地域の市民が積極的に学習・保育・休養・集会に利用できるということが設置の目的である。保育や休養はゆとりぎやスポーツセンター、スイミングセンターなど教育関係の施設でも、使用目的の中に入れるべきではないか。地域の住民から「部屋は空いていても高くて使えない」などの声があってはならないと考える。市長の考えを伺う。</p> <p>3 子育てへの応援を</p> <p>(1) コミュニティーセンター内にある保育室とゆとりぎ内にある保育室が空いている場合は地域に開放し、子育て中の人々が自由に利用できるようにすべきと思うが市長の考えを伺う。</p> <p>(2) 地域集会施設や学習等供用施設を自主的な子育てサークルへ無料で開放すべきと考えるが市長の見解を伺う。</p> <p>(3) 子育て中の人々の悩みが複雑になり、市への相談も深刻なものがある。悩みを持つ個人へ寄り添って解決の道を</p>

14 人目

1 番

馳 平 耕 三

探すためには職員の増員が欠かせない。正職員を増やすべきと考えるが市長の見解を伺う。
(4) 東京都が来年から小・中学生の医療費の一割助成の制度を導入することが決まった。当市では具体的にはどのようなになるのか伺う。

1 分権型社会を実現するツールとして補助金改革を急げ

- (1) 創設してから 10 年を経過して存続している補助金はいくつあり、どのくらいの割合か。
- (2) この 5 年間、補助金の額が変わらないものはいくつあり、どのくらいの割合か。
- (3) 総務省の「新地方行政指針」をどう考えるか。また、補助金改革に取り組む考えはあるか。
- (4) 補助金の対象や金額をホームページで公開してはどうか。
- (5) 細分化、零細化した補助金を統合してはどうか。
- (6) 補助金の期限を設定し、定期的にチェックしてはどうか。
- (7) 行政評価システムが反映できるように、第三者機関で補助金改革に取り組む必要があると考えるがどうか。
- (8) 補助金交付の目的・根拠・基準を明確に示し、市民に示すべきだと考えるがどうか。

2 地域の実情にあった時代をリードする図書館に

- (1) 10 年前、5 年前と比較して、市立図書館の蔵書の数と貸し出し数はどう変化したか。
- (2) 「ゆとろぎ」が完成してから、貸し出し数は前年と比較してどれくらい増えたか。
- (3) リクエストによる貸し出しは、どのくらいの比率を占めているか。
- (4) 館種を越えて、企業資料室や大学とネットワークを築くべきだと考えるがどうか。
- (5) ホームページやメールを通じて、本の紹介は出来ないか。
- (6) カウンター業務の民間委託や館長を民間人にするなど、の考えは無いか。
- (7) 図書館に対する要望のなかで、要望の多いものベスト 3 は何か。
- (8) 著作権の講習を受けた司書を市立図書館や学校図書館に常駐させるべきだと考えるが。

3 教育をめぐる様々な問題について問う

- (1) 学習指導要領は法的拘束力があると、羽村市は考えているか。
- (2) いじめ問題の報告書は、どういう内容で、その結果を子供たちの教育にどう生かそうと考えているか。また、教師の負担は増えていないか。
- (3) 羽村市では、小中一貫教育が検討されているが、それが実現した場合、どう学習指導要領と整合性を保つか。
- (4) 小中一貫教育の検討の中で、4・4・1 制は検討されているか。
- (5) 教育基本法の改正に対して、現場の教師や保護者からどういった意見が、教育委員会に寄せられているか。

1 学校の防犯や地域との連携などについて

(1) 今年度から小中学校に防犯カメラが設置されているがその活用について

- ①モニターはどこに置かれ、どの様に監視しているか。
- ②録画はしているか
- ③監視カメラがあることは掲示しているか

(2) 学校に關係する組織との連携について

- ①どれだけの組織と連携していると認識しているか。
- ②それぞれの組織との連絡体制はどうなっているか
- ③基本的に学校が中心となって、学校ごとにそれぞれの組織と直接連絡をとる体制であるべきではないかと考えるがどうか

2 選挙開票事務の短縮について

(1) 直近の3回の選挙で開票にかかった時間と、経費はいくらか。

(2) 当市でも短縮に取り組むべきと考えるが如何か。

3 行財政改革推進プランについて

(1) PDCA サイクルの推進に当たって、その1サイクルをどのように運用しているか。計画項目によって異なると思われるが、最長・最短・平均期間や体制など。

(2) アウトソーシング（外部委託）の推進について、6つの業務が上げられているが、1つを除いて削減効果が記述されていない。残り5つの削減効果をどう見込んでいるか。

(3) 公共サービスの水準の総点検について、どんなサービス分類によって事例調査しているか、またはしようとしているか。

(4) 公共施設等におけるサービスの向上について

- ①土日開庁や開館日の拡大が検討されていることは評価できるが、費用対効果をどのような基準で判断しようとしているか。
- ②自治体間の相互利用では現在どれだけのサービスが提供されているか、また今後の計画はどうなっているか、その効果は。